

## (i) 調査研究に期待するなど積極意見

1. 私自身、長男妊娠の時に初めて B 型肝炎のキャリアーと診断され、子供を諦める様に言われショックを受けました。昭和 53 年の時代にはまだワクチンもなく、母子感染を防ぐためでした。でも諦めきれずに出産希望をしたら、カルテに「意志強固」と赤字で記入されたことを今でも鮮明に覚えています。出産後も母乳は一切与える事が出来ず、搾乳し全部捨てていました。また、子供が成人するまでに発症するかも知れないと言われ、乳児の時から実験台のように色々な検査もして痛い思いをさせ、血液感染が怖いので怪我とか鼻血とか出血に対しては本当に気を遣いました。その頃は、他人に息子がキャリアーだという事は隠して言えませんでした。最近は肝炎患者の救済などの報道で、多少は世間に知られる様になって来たとは思いますが、やはり他人に理解して貰うことは難しいと思い、長男がキャリアーと分かれば女性とのお付き合いも難しいかと考えています。本当に周りの多くの方に正しい知識を伝えて頂き、堂々とキャリアーと言える日が来る事を望みます。
2. 肝炎に限らず、疾患に関する偏見はそこかしこに存在しています。本調査研究結果を元に、是非、肝炎以外の全ての疾患に共通して偏見がない社会になるような、文化形成を考えていって頂けたらと思います。病を診て人を見ず。医療現場ではそれが当たり前になっています。人を見ているつもりでも、上から目線だったり、「治してあげる」対象として保護的な眼差しを多くの方がもっています。疾患とともに生きる人も、そういったパターンリズムに埋もれていることが多いです。「人と人との関係」をもう一度見つめ直せる機会となるような、研究発表にして頂きたいと思います。国の研究費を使っているのですから、どうか宜しく願いいたします。
3. 得られた資料を有効に活用して、差別がなくなるように努力して欲しい。調査をして聞き置くのみで、改善実行の伴わない調査が世間には溢れかえっているのです、この調査もそのようにならないことを、心より切望いたします。
4. いい調査だと思います。自分が受診相談を受けた際に、精神症状の他に肝炎がある場合、感染について尋ねます。輸血などの不可抗力の場合、同情し、なんとか支援したいと思いますが、薬物等が考えられる場合は、法を犯した結果じゃないかと感じられます。その気持ちが差別だと指摘されるのでしょうか？もしそう言われるのなら、自分は区別していると答えたいです。そのあたりの解釈など、この調査がどう考えているのかを知りたいですね。法の下での平等といいますが、生きていくなかで、社会に対してのルールの遵守や公共の利益を乱す方々には、それなりのリスク（差別や偏見）を背負っていただきたいと思っています（犯罪者、暴力団員、暴走族、詐欺軍団等々）。
5. 自分や周りの職員を守る為には、正しい知識を正確に身に付ける必要があると感じました。偏見や差別は、ちゃんとした知識が無いから憶測や推測で勝手に恐怖心が芽生えてしまっているのだと思いました。時間とお金が出れば、積極的に勉強会に参加したいと思っています。患者さんの立場になって考えてみる良い機会になりました。ありがとうございます。
6. 調査研究は、もっとも費用的な問題もあるが、自分の知識の向上ひいては、職場改善の一助としてどんどんして欲しい。また、結果をもっとわかりやすく公表して欲しい。専門書や論文集だけではなく、もっと目に触れる媒体に載せて欲しい。
7. ぜひとも、結果を生かしていただけるようにしてほしい。結果はどうだったか知りたい。肝炎の患者様に対して、医療者として、差別やそのほか苦しんでいることに協力できることがあれば、ぜひ協力していきたい。
8. 大変重要な研究がされていると感じます。が、研究後の対応・対策をどのように実行するかで、本研究の意義が大きく変化するような気がします。有識者が実施されている研究の成果を、一般向けに分り易く解説いただき、今後の活用を期待しています。
9. 肝炎は理解しにくい病気であり、目に見えるものではないので、あまり身近に感じないのかもしれない。感染した時の対応や今後の治療など、分かりにくい部分を明確にする良い試みだと思う。今後も引き続き調査研究していただきたい。
10. 鍼灸師でもあります。教育機関での情報提供はほとんどありません。整骨院でも同じです。長い時間患者様に触れ会話をしている私たちは、自分たちで勉強し対処しなければならないので、間違った対応をしていないか？患者様を傷つけていないか？と不安です。医療系と認めていただければ、ガイドライン等の情報提供をもっとしていただけると、とてもうれしいです。
11. 部落問題にしても何にしても、啓発活動を行えば行く程に、本来知らなくても生きていけるのに、余計な情報を学ぶ事もありますので、注意が必要だと思います。例：部落問題を学ぶ→興味が湧いて具体的な地域を調べる→地域が判明したところ友人の住んでいる地域だった→結果、距離をおく。

(他に同旨・同様回答 59件)

## (ii) 患者側に対する意見

1. 肝炎患者に対する差別の有無そのものがどの程度あるのか、私は感じたことが無い。もちろん医療関係者であり感染リス

クの高い職種でもあるが、きちんとした感染防止対策教育がなされているため医療関係者として差別することは無い。しかしながら、患者側の差別に対する被害者意識から、我々医療関係者の感染防護対策が過度に見えた際に差別と取られてしまうと、我々も困惑してしまう。現在の推奨されている感染防御対策は、きちんと行なうと十分過度に見える程度行なわれることがある。それも患者に理解してもらう必要がある。患者側に対する教育も必要である。

(他に同旨・同様回答 4件)

### (iii) 調査研究に対する疑問等消極意見

1. 医療従事者としてではなく、一般人としても肝炎患者に偏見があると思わないし、差別をするなど啓発することが、世の中で差別がある→差別対象につながると思う。まったく差別を感じていない人に、差別感を与えてしまうような行動はしないほうがいいと思う。
2. 肝炎で差別される話は聞いたこともみたこともない。この調査は何なのかわからない。部落差別といっしょで、知らなければ差別しないものを、よけいなことを教えることによって差別が生まれる。今回のアンケートで、肝炎の差別など、20年近く病院で働いていて聞いたこともなかったが、気をつけてみたいと思う。ただ、病気の知識は一般人にあまりにも隠しすぎているのでいけないと思う。もっと、学校の教育である程度の知識を教えてもいいと思う。医者は神様ではないので、医療のことを隠し続けるのは時代にあってないと思う。世の中、うそをつく医者は多い。

(他に同旨・同様回答 10件)

### (iv) 調査方法についての意見

1. 肝炎患者の差別とのことだが、常日頃肝炎患者に接し、注射針や血液など扱っているが、差別というものが存在することは初めて知った。回答の中に差別が存在することが前提のものしかないので、差別がない場合の回答も加えるべき。

(他に同旨・同様回答 16件)

### (v) 差別についての認識がないなどの意見

1. 肝炎患者が差別を受けているなんて、全く知らなかった。自分の職場ではそのようなことはまったくなかったの、自分の無知がわかったと思う。
2. 私は医療関係の職場で介護の業務をさせて頂いて肝炎のことも少し知っているつもりでしたが、肝炎の患者様に対する差別があることをこのアンケートで初めて知って自分が恥ずかしいと思っています。これをきっかけに、肝炎と肝炎の患者様のことについて、もっと知っていきたいと思います。
3. 肝炎に対して差別があるなんて知らなかった。職業柄、肝炎患者と対話することがあっても、負の気持ちで接したことは一度もなく、今後も心構えは変わらない。

(他に同旨・同様回答 36件)



## B型・C型肝炎患者への対応に関するアンケート

アンケートにアクセスしていただき、ありがとうございます。

このアンケートは、株式会社インテージが、「肝炎ウイルス感染者に対する偏見や差別の実態を把握し、その被害の防止のためのガイドラインを作成するための研究」班からの依頼を受けて実施しています。

このアンケートは以前にお送りしたアンケートで「医療・福祉関係の仕事に従事している」とお答えの方にご案内しております。

一部、お答えづらい設問があるかと思いますが、下記に掲載いたしました研究の趣旨をご理解のうえ、無理のない範囲でご協力ください。

「肝炎ウイルス感染者に対する偏見や差別の実態を把握し、その被害の防止のためのガイドラインを作成するための研究」班  
代表 学習院大学法科大学院 教授 龍岡 資晃

この調査は、当研究班が、厚生労働省の平成23年度厚生労働科学研究費補助金を受けて行う「肝炎ウイルス感染者に対する偏見や差別の実態を把握し、その被害の防止のためのガイドラインを作成するための研究」において、ガイドライン作成の前提であるB型・C型肝炎患者（以下、無症候性キャリアを含め、「肝炎患者」と言います。）に対する偏見や差別の実態を把握するための調査の一環として行うものです。

この研究は、肝炎患者に対する偏見や差別の実態を把握し、これを医学的及び法律的観点から分析・検討して偏見や差別を防止するためのガイドラインを作成し、これにより肝炎患者に対する偏見や差別をなくし、肝炎に対する理解を深め、肝炎に対する正しい知識の普及と啓発を図ることを目的としています。

この実態調査につきましては、個人情報関係の法令を順守するなど情報管理を厳にし、ご回答いただきました情報は、この研究の目的以外には一切使用いたしません。

以上、この調査の趣旨をご理解いただき、質問事項にお答えいただきますよう、ご協力をお願いいたします。

研究班の構成は、次のとおりです。

龍岡資晃（代表）	学習院大学法科大学院・教授（弁護士）
川上拓一	早稲田大学法学部・教授
北濱昭夫	大船中央病院・特別顧問（医師）
齋藤政樹	東武練馬中央病院・医師
多田羅浩三	日本公衆衛生協会・理事長
田中純子	広島大学大学院医歯薬学総合研究科・教授
戸松秀典	学習院大学法科大学院・教授（弁護士）
山川洋一郎	古賀総合法律事務所・パートナー弁護士
山本晋平	古賀総合法律事務所・弁護士
四柳 宏	東京大学医学部感染症内科・准教授
米澤敦子	東京肝臓友の会・事務局長
（研究協力者）	
久保山力也	青山学院大学大学院法務研究科専任助手

ご協力いただける場合は「開始」ボタンを押し、回答を開始してください。

開始

肝炎ないし肝炎患者についてお伺いいたします。

**Q1\_1** あなたは、肝炎について、どの程度ご存知ですか。

(回答は横の行ごとにつづつ)

	よく知っている	ある程度知っている	あまり知らない	全く知らない
肝炎の種類	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
肝炎の病状	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
肝炎の感染経路	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
肝炎の治療方法	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

戻る

次のページ

**Q1\_2** あなたが、お勤め先で肝炎患者に接する機会はどの程度ありますか。

(回答は1つ)



戻る

次のページ

**Q1\_3** あなたは、お勤め先での以下のような場面で、自分に肝炎が感染するかもしれないという不安を感じたことはありますか。

(回答は横の行ごとにつづ)

	明確に感じたことがある	明確ではないが感じたことがある	どちらともいえない	あまり感じたことはない	感じたことはない	該当しない
観血的な医療行為(注射・点滴等)を行う場合	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
身体に触れる医療行為(血圧測定等)を行う場合	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
肝炎患者との日常的な交流(会話など)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

戻る

次のページ

**Q1\_4** あなたは、下記の人々等から、肝炎患者に対する偏見や差別があるということを見聞きしたことがありますか。

(回答は横の行ごとにつづ)

	聞いたことがある	聞いたことはない	覚えていない
肝炎患者	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
患者(肝炎以外)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
職場の同僚	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
取引がある業者	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
報道機関	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

その他 具体的に:

戻る

次のページ

**Q1\_5** あなたは、どのような理由で**肝炎患者に対する偏見や差別**が生じると思いますか。

(回答は横の行ごとに1つずつ)

	大いに該当する	ある程度該当する	どちらともいえない	ほとんど該当しない	全く該当しない
簡単に感染すると思われているため	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
性感染症と同一視されているため	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
治療が困難であるため	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
生活態度に問題があり感染したと思われているため	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
学校や職場等の組織の理解が不足しているため	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
日本社会に差別的傾向があるため	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
誤解を生む報道がされているため	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
誤解を生む教育がされているため	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
これまでに偏見や差別を感じたことはない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

その他 具体的に:

戻る

次のページ

**Q1\_6** あなたは以下の諸項目が、**肝炎患者に対する偏見や差別の解消のために**、どのくらい効果的だと思いますか。

(回答は横の行ごとに1つずつ)

	大変効果的	多少は効果的	どちらともいえない	あまり意味がない	全く意味がない
国や地方自治体による啓発活動	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
法律による禁止(罰則なし)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
法律による禁止(罰則あり)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
裁判例の積み重ね	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
患者団体による啓発活動	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
患者個人による啓発活動	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
行政機関への要望	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
弁護士等への法律相談	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
学校における教育	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
職場の理解の改善	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

その他 具体的に:

戻る

次のページ

**Q1\_7** あなたは**肝炎患者に対する偏見や差別防止のために**、「どのような機関」が「どのようなこと」をすることが望ましいと考えますか。以下に具体的に記入してください。

(回答は具体的に)

※特に望むことがない人は「なし」と、具体的な考えが思いつかない人は「思いつかない」と記入してください。

戻る

次のページ



**Q1\_8** あなたは下記の差別問題が生じる原因として、「知識不足」、「心の問題」、「制度的不備」のうち、どれが最も大きく関わっていると思いますか。

(回答は横の行ごとに1つずつ)

	知識不足の面が大きい	心の問題が大きい	制度的不備の面が大きい
病気一般に対する差別	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
男女差別	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
部落差別	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
身体障害者差別	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
精神障害者差別	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
性感染症患者差別	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
外国人差別	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
学歴差別	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
高齢者差別	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
アイヌ差別	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
職業差別	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
宗教差別	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
肝炎患者差別	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

戻る

次のページ

あなたのお勤め先での肝炎患者に対する相談・苦情の対応についてお伺いいたします。

**Q2\_1** あなたのお勤め先では、**肝炎患者に対する偏見や差別に関する相談又は苦情**について、対応できる窓口は設置されていますか。

(回答は1つ)

※肝炎患者も含めた患者からの相談、苦情に関して対応する窓口があれば該当します。

- 常設している
- 不定期に設置している  
※どのくらいのペースですか→  記入例:「1か月に5日間」など
- 設置していない
- わからない

戻る

次のページ

**Q2\_2** あなたのお勤め先では肝炎患者からの相談又は苦情について、下記の方法による受付は可能ですか。

(回答は横の行ごとにつづ)

	可能	現在不可であるが検討中	不可	わからない
面談	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
電話	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
FAX	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
メール	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

その他 具体的に:

戻る

次のページ

Q2\_3

以下のそれぞれの方(機関)から、**肝炎患者に対する**偏見や差別に関する相談又は苦情をどの程度受けていますか。「よくある」、「たまにある」、「ほとんどない」、「まったくない」、「把握していない」から選択してください。

(回答は横の行ごとに1つずつ)

	よくある 8年に 数回以上 ▽	たまにある 8年1 回程度 ▽	ほとんど ない	まった くない	把握 してい ない
患者本人	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
患者の配偶者	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
患者の父母	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
患者の家族(配偶者、父母を除く)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
患者団体関係者	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
弁護士	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
司法書士・行政書士	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
社会保険労務士	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

その他 具体的に:

戻る

次のページ

**Q2\_4** 肝炎患者に対する偏見や差別に関する相談又は苦情の内容について、「よくある」、「たまにある」、「ほとんどない」、「まったくない」、「把握していない」から選択してください。

(回答は横の行ごとに1つずつ)

	よくある 〆年に数回以上 〆	たまにある 〆年1回程度 〆	ほとんどない	まったくない	把握していない
診療に関すること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
健康診断に関すること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
日常生活等に関すること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
進学、就職に関すること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
職場での偏見、差別に関すること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

その他 具体的に: \_\_\_\_\_

戻る

次のページ

**Q2\_5\_1** あなたは、お勤め先で肝炎患者に対する偏見や差別に関する相談又は苦情の対応をしたことがありますか。

(回答は1つ)

- ある
- ない

戻る

次のページ

Q2\_5\_2

あなたが対応した**肝炎患者に対する偏見や差別の事案の概要と対応の内容**を差し支えない程度に3つまでお書きください。

(回答は具体的に)

※相談のみの対応の場合は「特になし」と記載してください。

## 【対応ケース(1)】

事案の概要

対応の内容

## 【対応ケース(2)】

事案の概要

対応の内容

## 【対応ケース(3)】

事案の概要

対応の内容

[戻る](#)[次のページ](#)

**Q2\_6** あなたのお勤め先では肝炎患者に対する偏見や差別を防止するための取り組みとして、下記の記録ないし仕組み等が存在しますか。また、それらは活用されていますか。

(回答は横の行ごとに1つずつ)

	存在し 活用されている	存在するが あまり活用されていない	存在しないが 導入を検討中	存在して 導入の計画もない	把握していない
防止マニュアル	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
防止のための研修	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
個別の相談記録簿	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
個別の苦情記録簿	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
担当の専門職員の配置	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
医療関係者との連携	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
心理専門家との連携	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
法律専門家との連携	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
他の行政機関(法務局等)との連携	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

その他 具体的に:

戻る

次のページ

ここでは、あなた自身についてお伺いいたします。

**Q3\_1** あなたの性別をお教えてください。

(回答は1つ)

- 男性
- 女性

戻る

次のページ

**Q3\_2** あなたの誕生年をお教えてください。

(回答は1つ)

▼誕生年を選んでください。 ▼

戻る

次のページ

**Q3\_3** あなたのご職業(職種)をお教えてください。

(回答は1つ)

下の回答から選んでください。

**Q3\_4** あなたは現在の職業(職種)に就かれてから何年になりますか。

(回答は半角数字で入力)

※1年未満の方は「0年」とお答えください。

年

**Q3\_5** あなたの現在の勤務先での勤続年数をお教えてください。

(回答は半角数字で入力)

※1年未満の方は「0年」とお答えください。

年

戻る

次のページ

【本調査研究についてのご意見】

**Q3\_6** 調査研究の向上のため、ご意見をお寄せください。

戻る

次のページ

## 【個別聞き取り調査(ヒアリング)へのご協力】

本調査に最後まで御協力をいただき、ありがとうございました。

今後の調査として、研究班メンバーによる個別の聴き取り調査(ヒアリング)を企画しております。  
(調査実施主体:株式会社インテージ)

個別の聴き取り調査(ヒアリング)は、あなたのお住まいの地域の貸会議室やホテル、もしくはインテージ本社(秋葉原)の会議室等を利用して行う予定です。  
ご参加いただく可能性がある方には後日改めて日程・時間帯・最終的な参加意思などを確認させていただくアンケートをお送りさせていただく場合がございます。

※応募が多い場合は、抽選とさせていただきます。予めご了承ください。

※誠に恐れ入りますが、下記に該当する方は、今回の個別の聴き取り調査(ヒアリング)へのご応募はご遠慮ください。

—ご本人、もしくは同居されているご家族の中に、「マスコミ・広告、新聞・放送業」「市場調査」に関する職業の方がいらっしゃる場合

—小さなお子様をお連れになってのご参加となる場合(託児施設などはございません)

**Q3\_7** この個別の聞き取り調査(ヒアリング)にご協力いただけますでしょうか。

(回答は1つ)

- 協力できる
- 都合がつけば協力できる
- 協力できない





## 【資料 8】 一般生活者アンケート調査 集計表

問 1 感染症全般についてお伺いします。

問 1-1 感染症の広がり方に関して、あなたの考えをお伺いします。以下の感染症はそれぞれ、どのようにして感染すると思いますか。あてはまると思うものすべてお答えください。

上段=度数 下段=%	インフルエンザ	麻疹(はしか)	O157(病原大腸菌)感染症	ノロウイルス感染症	MRSA(メチシリン耐性ブドウ球菌)感染症	エイズ(HIV感染症)	A型肝炎	B型肝炎	C型肝炎
空気中に放出された病原体を吸い込むこと	6110 96.7	3699 58.5	702 11.1	1736 27.6	600 17.6	56 0.9	187 3.4	191 3.1	198 3.1
病原体が食事と共に口から入ること	1496 23.7	923 14.6	5535 87.9	4536 72.0	1121 32.8	128 2.0	417 7.6	280 4.6	262 4.2
病原体が皮膚や粘膜から入ること	678 10.7	1055 16.7	444 7.1	761 12.1	645 18.9	931 14.7	366 6.7	435 7.2	433 6.9
血液などの体液を介して、病原体が体内に入ること	176 2.8	148 2.3	158 2.5	182 2.9	244 7.1	3477 55.0	2429 44.4	3043 50.1	3274 52.2
性交渉により病原体が体内に入ること	99 1.6	62 1.0	53 0.8	56 0.9	38 1.1	5372 85.0	284 5.2	483 7.9	470 7.5
その他の方法	0 0	7 0.1	5 0.1	19 0.3	16 0.5	19 0.3	18 0.3	42 0.7	35 0.6
わからない	127 2.0	1657 26.2	359 5.7	654 10.4	1388 40.6	234 3.7	2384 43.6	2472 40.7	2453 39.1
(その他)	接触感染	ウイルス。空気伝染。接触。	感染者の便から。嘔吐物などから菌が空気中にまい吸うことにより。食べ物から。手などからの細菌感染。	手洗い不徹底。接触感染。排泄物や吐瀉物から空気を介して。	医療器具を通じて。接触感染。免疫力低下。抗生剤の多用により黄色ブドウ球菌に耐性がついてしまい空気中から日和見感染。	血液製剤。母子感染。汚染された薬剤経口や注射器使用によって感染。遺伝。	血液製剤・輸血。注射針。アルコール。ウイルス。蚊などの害虫。不衛生。遺伝。体質。	血液製剤・輸血。注射針。母子感染(出産時など)。ウイルス。遺伝性。注射の乱用。	血液製剤・輸血。注射針。母子感染(出産時など)。ウイルス。遺伝性。過労。薬。集団接種。

問 1-2 あなたが感染症について抱いているイメージについてお伺いします。以下の感染症それぞれについて、あなたが抱いているイメージにあてはまるものをすべてお答えください。

上段=度数 下段=%	インフル エンザ	麻疹(は しか)	O157 (病原大 腸菌)感 染症	ノロイ ルス感 染症	MRSA(メ チシリン耐 性ブドウ球 菌)感 染症	エイズ (HIV 感 染 症)	A型肝炎	B型肝炎	C型肝炎
大人よりも子 供に多い	1947 30.8	4084 64.6	610 9.7	973 15.4	131 3.8	133 2.1	63 1.1	82 1.3	83 1.3
子供よりも大 人に多い	143 2.3	360 5.7	358 5.7	358 5.7	174 5.1	1551 24.5	599 10.9	704 11.6	786 12.5
男性に多い	31 0.5	42 0.7	42 0.7	18 0.3	12 0.4	563 8.9	91 1.7	116 1.9	139 2.2
女性に多い	32 0.5	22 0.3	10 0.2	15 0.2	5 0.1	145 2.3	22 0.4	16 0.3	25 0.4
多くの方が 感染する	4341 68.7	989 15.6	1485 23.6	1651 26.2	298 8.7	326 5.2	144 2.6	141 2.3	149 2.4
感染する人 は少ない	14 0.2	262 4.1	614 9.8	386 6.1	295 8.6	572 9.0	386 7.1	404 6.6	433 6.9
感染者数が 年々増えて いる	1032 16.3	347 5.5	923 14.7	1101 17.5	315 9.2	2550 40.3	238 4.4	308 5.1	366 5.8
感染者数が 年々減って いる	17 0.3	294 4.6	118 1.9	42 0.7	28 0.8	153 2.4	91 1.7	122 2.0	138 2.2
感染者数は 増えても減 ってもいな い	648 10.3	346 5.5	452 7.2	344 5.5	114 3.3	177 2.8	238 4.3	239 3.9	226 3.6
恐ろしい	1237 19.6	727 11.5	3010 47.8	2186 34.7	1134 33.2	4233 67.0	1422 26.0	1861 30.6	2092 33.3
恐ろしくない	276 4.4	322 5.1	92 1.5	163 2.6	19 0.6	86 1.4	106 1.9	94 1.6	87 1.4
治りやすい	713 11.3	569 9.0	210 3.3	296 4.7	62 1.8	45 0.7	181 3.3	69 1.1	57 0.9
治りにくい	273 4.3	118 1.9	411 6.5	339 5.4	367 10.8	2792 44.2	1229 22.5	1701 28.0	1935 30.8
ワクチンで 予防ができ る	3886 61.5	3023 47.8	34 0.5	88 1.4	44 1.3	87 1.4	232 4.2	319 5.3	224 3.6
治療に費用 がかかる	408 6.5	238 3.8	318 5.0	279 4.4	230 6.7	2008 31.8	1033 18.9	1339 22.0	1547 24.7
その他	38 0.6	17 0.3	58 0.9	40 0.6	32 0.9	68 1.1	14 0.2	16 0.3	23 0.4
思い当たる イメージはな い	219 3.5	447 7.1	779 12.4	987 15.7	1374 40.2	326 5.2	2017 36.9	2024 33.3	1927 30.7

問 2 B型肝炎・C型肝炎についてお伺いします。

問 2-1 B型肝炎の患者に対してあなたが抱えているイメージや気持ちに、以下のことはどの程度あてはまりますか。それぞれについてお答えください。

上段=度数 下段=%	強くそう思う (+2)	ややそう思う (+1)	あまりそう思 わない (-1)	全くそう思わ ない (-2)	わからない	(指数)
恐ろしい病気にかか っている	659 10.8	2693 44.3	1347 22.2	252 4.1	1127 18.5	0.4
治らない病気にかか っている	463 7.6	2221 36.5	1812 29.8	400 6.6	1184 19.5	0.1
そばにいと病気が うつるよる感じる	118 1.9	543 8.9	2407 39.6	2070 34.0	942 15.5	-1.1
患者と一緒に食事を するのはこわい	131 2.1	679 11.2	2393 39.4	1923 31.6	954 15.7	-1
患者の恋人や配偶 者になるのはこわい	353 5.8	1753 28.8	1899 31.2	1011 16.6	1063 17.5	-0.3
患者となるべく付き合 いたくない	167 2.7	892 14.7	2511 41.3	1586 26.1	923 15.2	-0.9
他の人に知らせて感 染が広がらないよるに すべきだ	358 5.9	1140 18.8	2010 33.1	1316 21.6	1256 20.7	-0.6
他の人にそつと知ら せた方がよい	195 3.2	957 15.7	2200 36.2	1372 22.6	1355 22.3	-0.8
差別を受けており、 気の毒だ	497 8.2	2010 33.1	1644 27.0	457 7.5	1471 24.2	0.1
偏見を持たれ、気の 毒だ	542 8.9	2194 36.1	1488 24.5	451 7.4	1404 23.1	0.2
性交渉を通じて感 染したのだらう	96 1.6	404 6.6	1900 31.3	2258 37.1	1421 23.4	-1.2
家族から感染したの だらう	80 1.3	929 15.3	2041 33.6	1286 21.2	1743 28.7	-0.8
患者はアルコールを 飲んではいけない	499 8.2	1516 24.9	1467 24.1	486 8	2111 34.7	0
患者は運動をしては いけない	91 1.5	547 9.0	2446 40.2	952 15.7	2043 33.6	-0.9
助成金も豊富で比較 的経済的には楽だ	30 0.5	301 5.0	2241 36.9	1211 19.9	2296 37.8	-1.1
自覚症状に乏しく生 活に支障はない	47 0.8	866 14.3	2115 34.8	686 11.3	2365 38.9	-0.7
体調を保つのが大変 だ	479 7.9	2719 44.7	1019 16.8	127 2.1	1735 28.5	0.6
仕事や家事を支障な くこなすのが大変だ	390 6.4	2357 38.8	1331 21.9	191 3.1	1809 29.8	0.3
一緒に暮らす家族の 負担が大きい	378 6.2	2260 37.2	1412 23.2	208 3.4	1821 30.0	0.3
生命保険に入るのが 大変だ	882 14.5	2360 38.8	885 14.6	170 2.8	1783 29.3	0.7
病院に通うのが大変 だ	733 12.1	2719 44.7	1080 17.8	145 2.4	1403 23.1	0.6
治療に費用がかかっ て大変だ	924 15.2	2938 48.3	756 12.4	104 1.7	1358 22.3	0.8
経済的に苦しいので はないか	525 8.6	2146 35.3	1348 22.2	180 3.0	1880 30.9	0.4